

月例報告	
学部	社会
学科	メディア社会
国名	中国
留学先	中央民族大学
報告月	2018年8月
内容	<p>1.学習状況の報告</p> <p>28,29日に到着報告を終え、2日後の31日クラス分けテストがありました。筆記試験は8:30~10:30の時間で行われました。私はHSKを持っていないため、テストのレベルはわからなかったのですが友人に聞いたところ4級程度の難易度だったそうです。筆記テストの内容は大問1がリスニング、大問2が文法、大問3が空欄補充、大問4が短文読解という構成でした。休憩を挟んで午後2時から面接試験が行われました。私が受けた面接試験の内容はとても簡単なもので名前、大学名、学年を聞かれ中国語はどのくらいの期間勉強したのか等を問われました。その後自分が上海語を少し理解できるということを伝えたところ、面接官の方が上海出身のようで簡単な会話を交わしました。その後机に用意されているABCDの例文の中から面接官に指定されたものを音読しました。ざっと見たところ文ごとに難易度が異なるようでした。自分はどこどこに読めない漢字があったのでごまかしながら全てを読みました。</p> <p>9月2日に班分けが発表され1,2,4,5,6,8,9班と7つの班が存在しており自分は5班に振り分けられました。</p> <p>2.生活状況の報告</p> <p>現地到着前に前年度中央民族大学に留学していた喜多由吏さんに連絡を取り前学期からいる現地の日本人の連絡先をいただいたため到着後の手続きはスムーズに行うことができました。到着した翌日に現地での電話番号と銀行カードを作成しました。中国では携帯電話決済が普及しているためこの二つを早急に取得し現地でのwe chatに連携させた方が良いです。自分は少しトラブルが起こりアカウントが一時的にブロックされてしまいました、インターネットで調べたところwe chat アカウントを作成してから6か月経過していること、銀行カードをアカウントと連携させていることの2点を満たしているユーザーにブロックを解除してもらう必要があり苦労しました。</p> <p>喜多さんに紹介していただいた友人を通して主に日本と韓国の友人ができたので現在は行動を共にしています。特に韓国のxianzai君は自分と同じサッカーをしているということもあり意気投合し夕方一緒にサッカーをしています。また中央民族大学内の食堂はとても美味しく値段の安さに驚きました、最低6円で最高でも14元程度であり日本円に換算すると100~220円程度とかなり安いです。学食は4つありそれぞれまったく違うお店が用意されているため飽きそうになくこれからの食事の時間が楽しみです。まだ学校が始まっていないため友達の部屋で談笑したり食事の食べに行きサッカーをしたりとそのくらいしか行動をしていないのでこれからもっと北京の名所に行きたいと考えています。</p> <p>3.その他(今、感じていること~心境の変化やご自分の成長等)</p> <p>私は8月18日から中国に入国しており10日ほど上海に滞在していました。中国来たのは5回目であるたび来るたび変化が見られ、変化のスピードがとても早いです。最後に来たのは高校時代でしたが今回来た時に道にとっても多くの自電車が置いてあり以前の街並みとは大きく異なりました。中国にはモバイク、オフオのような自転車のシェアサービス会社が存在し広く使われています。自転車についているQRコードを読み込みオンラインで支払うことで遠隔操作で鍵が解除されます、乗り終わった時にはどこにでも乗り捨てができるものなのでとても便利です。</p> <p>また中国の決済の方法として有名なのはwe chat アリペイのような電子決済普及率がとても高いです。これは中国では紙幣に対する信用が低い(偽札が多いという意味)ために現金を使わないこのような決済方法が普及したと考えられています。私も利用していますが決済だけでなく友達への送金ができるため大人数で食事した際にも利用できる代物です。</p> <p>上海では親戚がいるため、いとこと様々なところに遊びに行きましたが、その際に利用した公共交通機関も格安でした。どこまで乗っても2元と日本と中国の物価には大きな差がありました。ネットでは中国と日本の初任給を比べると既に日本は中国に抜かされていると書いてあり生活してみて体感した物価と比べるとさらに給料の面では謎が深まりました。中国の方が物価が安いのに給料が高く日本の方が物価が高く給料が高いのはどういうことなのか調べてみたいと思います。</p> <p>北京で生活し上海とどのようなところが違うのかを考えてみたところまず話し方が違いました。北京の人の方が巻き舌で話すので聞き取りづらく感じます。自分は外国人なので全然聞き取れないのですが日本でいうと関西弁と標準語の程度の違いなのかなと思いました。また料理の味付けが北京の方が寒いための濃く、甘めな味付けでした。</p> <p>中央民族大学では大きなグラウンドとサッカー場があり夕方になると学生ではない一般の方がそこでランニングをしており公園のようになっていました。走る人寝る人サッカーする人様々いて私からするとそのような活気に満ち溢れつつものんびりしている雰囲気が気に入っています。</p> <p>写真は外食した際の魚料理です。</p>